株主のみなさまへ

第71期 中間報告書

2025年4月1日～2025年9月30日

医療界に信頼され
選ばれる企業をめざす

株式会社ビー・エム・エル

証券コード：4694

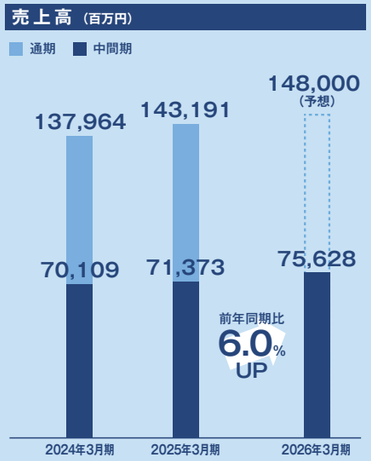
BMLの想い

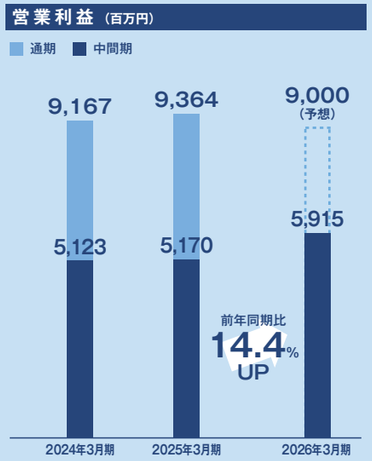
医療界に信頼され
選ばれる企業をめざす

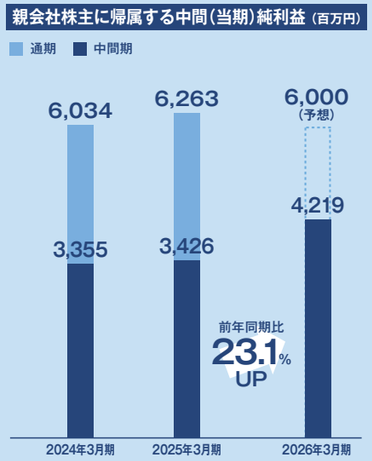
目次

P1　財務ハイライト
P2　株主のみなさまへ
P3　営業の概況
P5　連結決算の概要
P7　特集
P9　株式の状況
P10　会社概要

財務ハイライト







株主のみなさまへ

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、第71期中間報告書（2025年4月1日～2025年9月30日）をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果によって緩やかな回復傾向が続きました。しかしながら、アメリカの通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要です。加えて物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要があります。

このような経済環境のもと受託臨床検査業界におきましては、2年毎に実施されている診療報酬改定年度に当たらず検体検査に係る診療報酬の引き下げはなかったものの、人件費等の各種コストの上昇や業者間競争が続いていることから事業環境は引き続き厳しい状況にあります。

こうした中で、当中間連結会計期間の業績は、売上高75,628百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益5,915百万円（前年同期比14.4%増）、経常利益6,118百万円（前年同期比14.2%増）、親会社株主に帰属する中間純利益4,219百万円（前年同期比23.1%増）となりました。売上高につきましては、新規獲得が堅調に推移したことや前年より取り組んでいる価格の適正化が順調に進捗しており増収となりました。また、利益につきましては、BML総合研究所新棟の稼働(2025年1月)に伴い減価償却費が増加したものの新規獲得と価格の適正化により増益となりました。

引き続き、第9次中期経営計画（2024年度～2028年度）のスローガンである「Expanding with Passion 2028」に相応しい情熱を込めてBMLグループを成長させてまいります。

BMLは、お陰様で2025年7月に創立70周年を迎えることができました。

これもひとえに株主のみなさまのひとかたならぬご支援の賜物であり、この場を借りて深く感謝申し上げます。

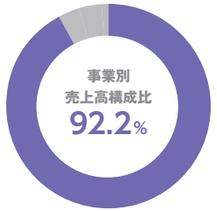
創業時の社名である「相互ブラッド・バンク」に含まれる「相互」の精神を大切にし、株主・職員・顧客および取引先からさらに広がり地域社会・地球環境にとって価値ある企業の実現を目指して取り組んでいく所存です。

株主のみなさまには、一層のご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長　**近藤 健介**

営業の概況

臨床検査事業

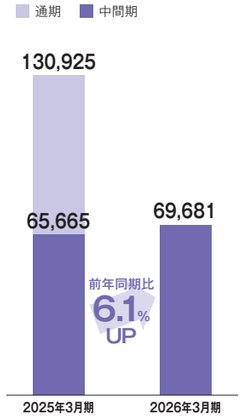


事業内容
- 臨床検査
- 治験検査

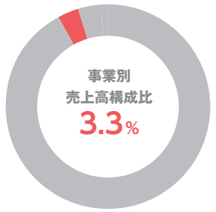
ルーチンから特殊検査まで4,000項目を超える検査を実施しています。

業績
連結売上高 **69,681** 百万円

新規獲得の強化を図るとともに、販売価格の適正化や既存ユーザーに対する新規検査項目・重点検査項目拡販等の深耕営業に取り組み業績の拡大を図りました。この結果、臨床検査事業の売上高は前年同期比6.1%の増収となりました。



食品衛生事業

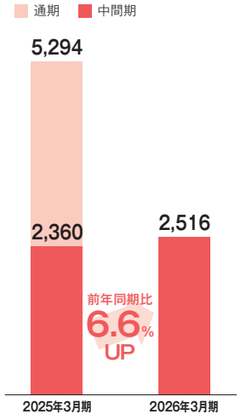


事業内容
- 食品コンサルティング
- 食品・環境検査
- 腸内細菌検査

食環境の総合的な衛生管理、消費者の健康と食の安全を支援しています。

業績
連結売上高 **2,516** 百万円

取引条件の適正化を推進しました。加えて食品コンサルティングで店舗点検や認証業務の受注が増加したことで、売上高は前年同期比6.6%の増収となりました。



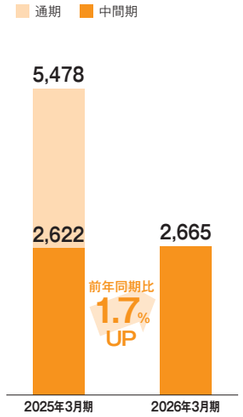
医療情報システム事業

事業内容
- 電子カルテシステム
  - 開発・販売
  - 保守サービス

診療所版電子カルテシステム「Qualis Cloud」、「Qualis」及び「Medical Station」の販売・保守を行っています。

業績
連結売上高 **2,665** 百万円

リプレイス需要に対応できたことにより、前年同期比1.7%の増収となりました。



その他事業

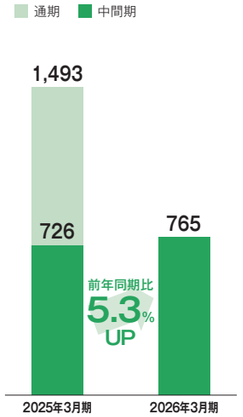
事業内容
- 調剤薬局
- SMO

※ SMO：特定の医療機関（治験実施施設）と契約し、その施設に限定して治験業務を支援する機関。

調剤薬局事業と高精度検査で医薬品開発をサポートしています。

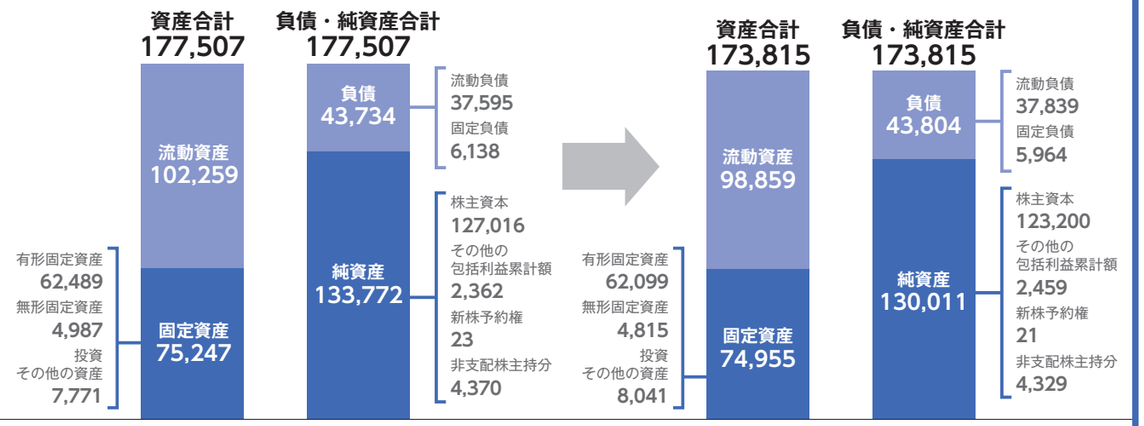
業績
連結売上高 **765** 百万円

治験実施医療機関支援（SMO）業務で注力しているペインおよび泌尿器領域の新規症例獲得数が増加しました。また、調剤薬局事業で診療報酬（薬価）引き下げの影響はあるものの、高額薬剤処方が増加したこと等により前年同期比5.3%の増収となりました。



連結決算の概要

連結貸借対照表の概要（百万円）



POINT! 資産

流動資産で現金及び預金が減少したことで、173,815百万円（前期末比3,691百万円減）となりました。

POINT! 負債

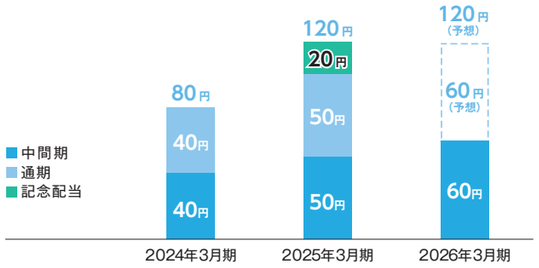
流動負債で支払手形及び買掛金が増加したことで、43,804百万円（前期末比70百万円増）となりました。

POINT! 純資産

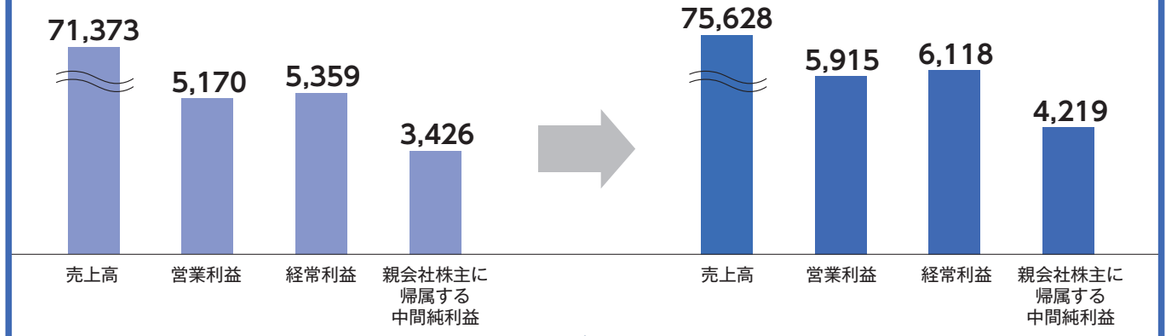
利益剰余金が減少し、自己株式が増加したことで、130,011百万円（前期末比3,761百万円減）となりました。

配当について

当社グループは、株主さまに対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置づけたうえで、安定的な経営基盤の確保と資本利益率の向上に努めるとともに、配当については安定配当の維持・継続を基本方針としつつ、連結業績に応じた配当水準の向上に努めております。なお、当期の中間配当は60円とし、期末配当の60円と合わせて年間では、1株当たり120円の配当を予想しております。



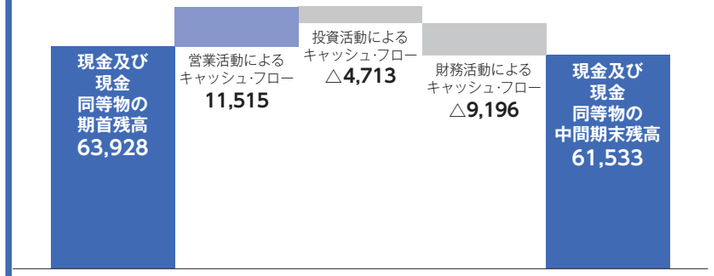
連結損益計算書の概要（百万円）



POINT! 連結損益計算書

新規獲得が堅調に推移したことや前年より取り組んでいる価格の適正化が順調に進捗しており増収となりました。また、利益につきましては、BML総合研究所新棟の稼働（2025年1月）に伴い減価償却費が増加したものの新規獲得と価格の適正化による増収効果により増益となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要（百万円）



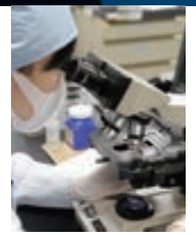
POINT! キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、11,515百万円の資金収入（前年同期比2,129百万円収入増）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、4,713百万円の資金支出（前年同期比8,666百万円支出減）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、9,196百万円の資金支出（前年同期比6,617百万円支出増）となりました。

特集

株式会社ラボテック

BMLの連結対象会社の中から、今回は臨床検査を主体業務としているラボテックをご紹介します。



ラボテックは、長崎県佐世保市に事業所を構えています。

ラボテックは、医療関連サービス業として地域に根付いて地域医療・福祉・保健・その他の分野をサポートする企業であり、2008年2月に当社の傘下となりました。

長崎県北部、佐賀県西部地区を営業エリアとして医療機関、福祉施設、行政の関連施設、その他を主たる顧客としております。

また行政から各医師会が委託を受けて実施される学校検診、住民健診の検体検査を受託しております。

臨床検査、保健業務を通じて「いのち　その大切さを知ろう」を合い言葉に、病気と闘う患者様やご家族をはじめ、医療関係者、地域社会の人びとなどのステークホルダーの方々のご要望に応えるべく、これまで以上のスピーディーさを兼ね備えて挑戦してまいります。

企業理念

1. 医療、保健、福祉をサポートし、人びとの健康に寄与いたします。
2. 資質の向上に努力し、技術とサービスで信頼に応えます。
3. 人の和を尊重し、創造力のある企業を目指します。

会社概要

設　　立 ： 2000年12月
資　本　金 ： 10,000千円
売　上　高 ： 406,872千円（2024年度）
従 業 員 数 ： 48名（2024年度末）

取得している認定証

日本臨床細胞学会施設認定証

品質保証施設認証書

沿革

1950年

1954年10月
㈱九州微生物研究所設立

1960年

1965年2月
㈱佐世保臨床検査センター設立

2000年

2000年12月
両社の臨床検査事業を統合し
㈱ラボテック設立

2010年

2008年2月
㈱ビー・エム・エルグループに加入

2011年4月
㈱ビー・エム・エルグループ傘下の
㈱九州オープンラボラトリーズグループに加入

特長

地域密着型を基盤とし、顧客ニーズに対応した検査体制で365日24時間による迅速な検査結果報告を提供し、ユーザーサービスの向上に努めています。

また、細胞診検査を実施しており婦人科領域ではLBC（液状化細胞診）検査を取り入れ正確なデータを迅速に提供しております。

緊急検査受託・当日報告など、小回りのきく地域密着型の検査センターとしての特性を十分に生かし、きめ細かな医療サービスの提供並びに、品質向上の追求に努めています。今後も最新の技術と質の高いサービスで地域医療の発展向上に貢献し、医療業界に信頼される検査センターを目指します。

▲自動標本作製装置

株式の状況 (2025年9月30日現在)

発行済株式の総数	37,483,599株 (自己株式3,265,827株除く)
単元株式数	100株
株主数	5,573名

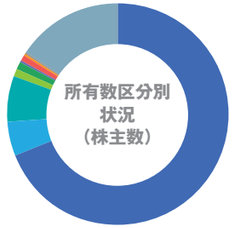
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社ビーエムエル企画	10,154	27.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,617	9.65
近藤 健介	3,534	9.43
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,115	2.97
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	900	2.40

※1 当社は、自己株式3,265千株を保有していますが、上記大株主から除いております。
※2 日本マスタートラスト信託銀行株式会社は、全て信託業務に係わる株式であります。

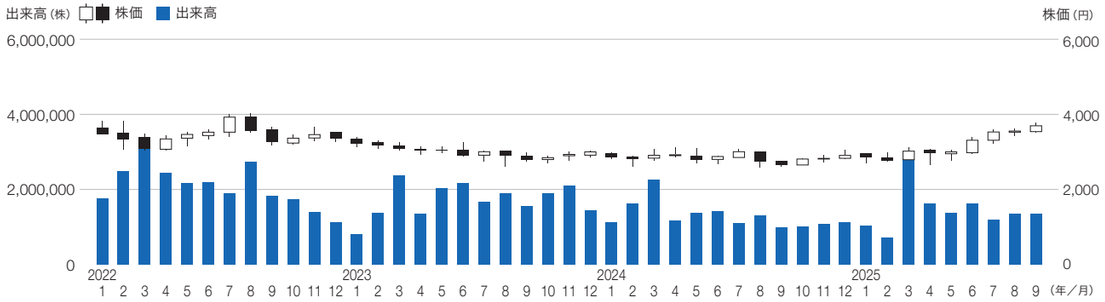
株式分布状況

金融機関	12.52%
証券会社	1.54%
その他国内法人	30.23%
個人・その他	22.46%
外国人	25.24%
自己株式	8.01%



1単元以上	69.41%
5単元以上	4.93%
10単元以上	6.71%
50単元以上	1.15%
100単元以上	1.22%
500単元以上	0.30%
1,000単元以上	0.72%
5,000単元以上	0.18%
自己株式	0.02%
1単元未満	15.36%

株価チャート



会社概要 (2025年9月30日現在)

会社概要

商号	株式会社ビー・エム・エル (英名　BML, INC.)
本社所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3 TEL: 03-3350-0111 (代表) https://www.bml.co.jp/
BML総合研究所	埼玉県川越市的場1361-1 TEL: 049-232-3131 (代表)
設立	1955年7月
資本金	60億45百万円
従業員数	4,654名 (連結)
事業内容	臨床検査の受託業務等

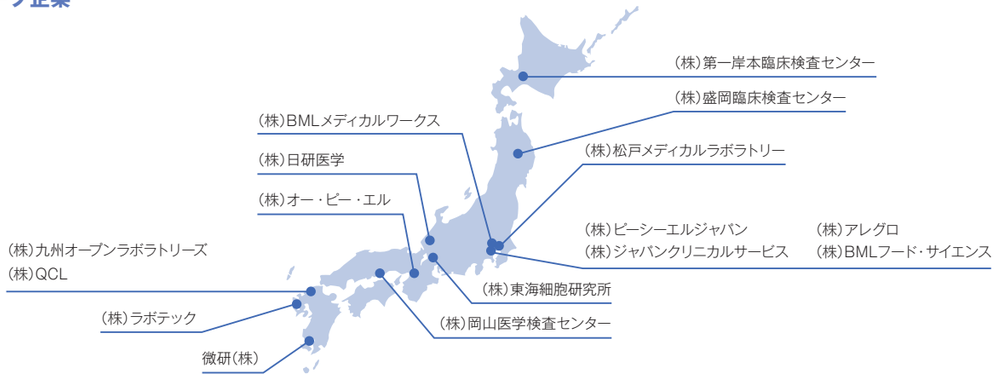
公告掲載URL　https://www.bml.co.jp/
(ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

役員

代表取締役社長	近藤	健介	専務執行役員	木越	浩之
代表取締役副社長	荒井	信貴	常務執行役員	近藤	正巳
代表取締役専務執行役員	武部	憲尚	執行役員	榎本	聡
取締役常務執行役員	柴田	健治	執行役員	武井	勝明
取締役執行役員	大澤	英明	執行役員	青野	道博
取締役執行役員	山下	祐二	執行役員	矢野間	載洋
社外取締役	新井	龍晴	執行役員	中原	洋見
社外取締役	大澤	茂	執行役員	酒巻	豊
社外取締役	松沢	玲子	執行役員	山下	和宏
取締役(監査等委員)	森下	健一	執行役員	宇野	幸嗣
社外取締役(監査等委員)	出縄	正人			
社外取締役(監査等委員)	宮城	典子			

社長及び副社長は執行役員を兼務しています。

グループ企業



ビー・エム・エル　検査室紹介

ゲノム検査1課

ゲノム検査1課では、次世代シークエンスやデジタルPCRなどの先端技術を積極的に導入し、がんや遺伝病、薬の効き方や副作用にかかわる遺伝子の検査を実施しています。

医療の高度化と社会的ニーズの高まりを背景に、これからもより質の高い検査で医療の未来に貢献したいと考えています。

▲次世代シークエンサー①

▲次世代シークエンサー②

▲デジタルPCR装置

こんな検査をやっています!!

- **がん関連遺伝子検査**
  （オンコマインマルチCDx検査、肺癌マルチ遺伝子PCRパネル検査、RAS/BRAF検査、MSI検査等）
  がんの遺伝子変異を調べ、患者さん一人ひとりに合った薬剤をみつけるための検査です。
- **遺伝学的検査**
  （難聴関連検査、脊髄性筋萎縮症（SMA）検査等）
  遺伝性疾患の原因となる遺伝子変異を調べ、診断～治療につなげるための検査です。
- **薬物代謝酵素関連遺伝子検査**
  （CYP2C19遺伝子、UGT1A1遺伝子、NUDT遺伝子の検査等）
  お薬の代謝や分解にかかわる酵素の遺伝子を調べ、対象の薬物に対する代謝能や副作用の予測につなげる検査です。

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会権利行使株主確定 3月31日 株主配当金受領株主確定 3月31日 中間配当金受領株主確定 9月30日
株主名簿管理人	三井住友信託銀行 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 （〒168-0063） 株式お手続き用紙のご請求をインターネットでもお受け付けいたしております。 URL https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

各種手続のお申出先

未払配当金のお支払い	
株主名簿管理人※	
住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等	
〈証券会社をご利用の場合〉	〈証券会社をご利用でない場合〉
お取引のある証券会社	特別口座の口座管理機関である 三井住友信託銀行 証券代行部※

※ 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国本支店でも行っております。

（電話お問合せ・郵便物送付先）
三井住友信託銀行 証券代行部
東京都杉並区和泉二丁目8番4号（〒168-0063）
0120-782-031（フリーダイヤル）